

令和 8 年度

4 月定例教育委員会

会 議 録

(公 開)

令和 8 年 4 月 1 6 日

## 1 開 会 14時00分

教育長から、「臨時代理報告第1号」及び「議題第3号」については、個人情報が含まれていること、「議題第4号」、「議題第5号」、「報告第1号」、後日公開されるものであることから、非公開での審議が適当である旨の提案がなされ、出席者全員で異議なく決定した。

## 2 前回の会議録の承認

教育長から、令和7年度3月定例教育委員会の公開部分の会議録の承認について諮られ、出席者全員で異議なく承認した。

## 3 議 事

### ◎ 議題第1号

#### 知事の権限に属する事務（公益信託）の補助執行について

教育政策課長（資料に沿って説明）

教育長

それでは、この件については、案のとおり決定いたします。

### ◎ 議題第2号

#### 令和8年度宮崎県教科用図書選定審議会への諮問について

義務教育課長（資料に沿って説明）

木村委員

デジタル教科書については、今後紙媒体と同様の正式な教科書に位置付けられ、無償配付の対象になるという記事を見ました。子供たちにとって、紙媒体の教科書の持ち運びは非常に重くなっているため、デジタル教科書が導入されることは、保護者としても非常にありがたいことです。その上で質問ですが、宮崎県内のデジタル教科書の普及状況や今後の整備方針等について教えてください。

義務教育課長

デジタル教科書は、外国語については全て配付が行われております。また算数・数学においては、半数程度が導入しております。今後は、2030年に向けたデジタル教科書導入とありますので、本県としても、どのように導入していくのかについては国の動向を注視しながら対応していきたいと思っております。

### 木村委員

現在の教科書には、二次元コードが掲載されています。二次元コードを開くと、問題を解く際のヒントが記載されており、非常に分かりやすくなっております。質問ですが、採択の際には二次元コードの内容まで確認しているのでしょうか。リンク先の内容が分かりにくいものであると、子供たちのためにならないと考えます。採択の際には、大変な業務ではあると思いますが、リンク先まで検討していただけるとよいかと思えます。

### 柳委員

二次元コードの内容については、調査研究の年に調査していると思えます。

### 義務教育課長

委員御指摘のとおりと考えますので、本県も対応していきたいと思えます。また、文科省の方針等も確認しながら取り組んで参ります。

### 森山委員

審議会委員の方々についてですが、選定される方々の基準やプロセスについて教えてください。

### 義務教育課長

委員の選定については、後ほど臨時代理報告第1号で詳しく説明させていただきます。

### 教育長

デジタルについては、教科書に限らず、様々な教材で活用が推進されております。議会においては、デジタル教科書による功罪について問われたところですが、メリット及びデメリットがそれぞれにあります。したがって、教科書を含めた教材の選定については、デジタルの功罪を考慮した上で、メリットを生かせる活用の仕方を併せて検討していく必要があると考えます。

### 教育長

それでは、この件については、案のとおり決定いたします。

### ◎ その他①

#### 市町村立学校の設置及び公立幼稚園の休園について

義務教育課長（資料に沿って説明）

### 松山郁子委員

都城市立あやめ野中学校について、児童生徒数の見込みはどのように決定しているのかを教えてください。例えば、令和9年度には14名増加していますが、これは事前に調査した結果なのでしょうか。また、令和10年度に増えていないのはなぜでしょうか。さらに、他地区における同様の学校については、子供たちが希望する学校にそれぞれ入学できているのでしょうか。

### 義務教育課長

都城市立あやめ野中学校については、詳細については今後確認いたしますが、各学年を10名から15名程度と考えており、定員を45名と想定していると考えられます。令和9年度及び令和10年度については定員に達するとしておりますが、令和8年度については、定員に達していないことから31名の転入学でございました。他地区における学びの多様化学校について、入学を希望したにもかかわらず、入学できていないという情報は今のところございません。

### 木村委員

石山幼稚園については、6人全員が入園を希望しないということですが、どのような理由で入園しなかったのでしょうか。また、休園されている幼稚園は、どのような活用がなされているのでしょうか。

### 義務教育課長

石山幼稚園は、年長の子供たちが受け入れの対象であります。年長でない子供たちは、すでに他の施設に入園されており、当該幼稚園には入園しないことを確認しております。施設の活用については、都城市に確認したところ、今後地域住民の意向を確認しながら検討していくとのこととです。

### 松山竜也委員

昨年度まで、南九州大学内には「あおぞらラボ」として大学生の支援を受けながら不登校児童生徒への支援が行われていたと思います。学びの多様化学校については、今後必要不可欠な学校になってくるものと思いますが、現在県内に何カ所あり、その充足率はどの程度なのかについて教えてください。

### 義務教育課長

学びの多様化学校は、延岡市、宮崎市、都城市の3カ所にあります。充足率については、確認しておりません。

### 教育長

それでは、この件については、これで終わります。

◎ 次回の会議の日程等について

教育長

それでは、次回定例会は、5月14日、木曜日、14時からとなっておりますのでよろしくお願いいたします。

これより後、会議冒頭の決議により非公開とします。  
傍聴者の方は、御退席をお願いします。

(14:26)